

群馬県内企業のDXの取り組みに関する調査

群馬経済研究所 主任研究員 半田浩己

調査のポイント

デジタルトランスフォーメーション（以下、DX）[※]の取り組みについて、群馬県内企業を対象に調査した。その結果を、群馬県内において企業のDXを推進している専門家へのヒアリング結果と併せて報告する。

注：本稿では、DXの定義として、業務のデジタル化を行った結果、「組織横断的な業務プロセスのデジタル化」「新規製品・サービスの創出」「企業文化や組織、ビジネスモデルの変革」を実施している状態と定義した。

要約

- アンケート調査によると、DXに取り組んでいる企業は過半数を占めたが、全社戦略に基づき全社的に取り組んでいる企業は少なく、専門部署やプロジェクトチームを設置していない企業も多かった。
- DXに取り組む目的は「業務プロセスの改善や効率化」が8割を超え、「情報共有の迅速化」や「人手不足への対応」も5割を超えた。
- DXの取り組みの段階としては、「業務の効率化や生産性の向上を進めている」段階の企業が半数を占めており、「新規の製品・サービスを創出している」「企業文化や組織のあり方・ビジネスモデルを変革している」段階の企業は少なかった。
- DXを推進する上で工夫した点は、「取り組むための知識や情報の蓄積」や「取り組むためのスキルの強化」などがあがった。
- DXの専門家によると、中小企業がDXを効果的に進めるには「経営層が方向性を示し、全社的な取り組みとすることが重要である」「経営層を含めてDX教育を受けることで企業全体のレベルが向上し、システム構築の内製化まで可能となる」といった意見が聞かれた。

アンケート調査概要

実施時期：2025 年 3 月下旬～4 月中旬
調査方法：郵送により配布・回収
調査対象先：群馬県内企業 1,984 社
有効回答数：359 社（18.1%）

業種	回答企業数（社）	構成比率（%）
製造業	91	25.3
非製造業	268	74.7
合計	359	100.0

規模別	回答企業数（社）	構成比率（%）
20人以下	91	25.3
21人～50人	113	31.5
51人～100人	73	20.3
101人以上	82	22.8
合計	359	100.0